

沖縄食堂

SDGs宣言



本場「沖縄」が味わえる本格沖縄料理を沖縄本島・宮古島から直送される食材と地元高根沢の食材のコラボし、沖縄の食文化と伝えつつ地産地消や食品ロスの削減により、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。沖縄の文化を高根沢町から発信し、地元のイベント参加し、地域貢献を目指します。

2023年9月15日

沖縄食堂

代表 金城 真

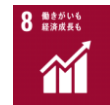
■ SDGsの達成に向けた取組 ■

多様な人材活用

性別、障がい、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

【具体的な取組】

- 社内の規程・方針の見直し
(性別や障がい、国籍による給与、労働時間、待遇に関する差別の撤廃等)
- 採用条件等の見直し(適切な採用者男女比率、不適切な採用選考の撤廃)
- 外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備



ゴミ・廃棄物削減

未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。

【具体的な取組】

- 廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進
- ペットボトル・空き缶の分別回収やリサイクル活動
- ペーパーレス化の推進



プラスチック削減

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、プラスチックの削減や適切な利用を推進します。

【具体的な取組】

- 過剰包装の廃止
- 使い捨てプラスチック容器を紙など他素材に変更
- マイボトル、マイ箸等の推進



地産地消の推進

地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。

【具体的な取組】

- 地域産の木材を使用した製品の開発・購入
- 地元産品や特産品の発信・インターネット販売
- 沖縄県と高根沢町の特産品をコラボしたイベント企画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。